

未来を開く

長井市立長井北中学校 No75 令和5年 2月 1日

『より高みをめざして！』

令和4年度の「学校文集『北嶺』」の編集作業が進んでいる。生徒の活躍に添えて、巻頭言として拙文を記した。

■今年度は、本校創立41年目。今までの伝統に支えられ、新たな一歩を踏み出す年となりました。そこで、「たくましく／しなやかに／ともに創ろう／新たな歴史」というスローガンを掲げました。そして、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動や行動が制限されて3年目を迎えるなか、安全・安心に配慮しながら着実な歩みを重ねてきました。初めにその一端を振り返ってみましょう。

■○ 3年生を中心に「これができたら北中生」の姿を考えて、明るいあいさつや整理整頓そして集中した授業への取り組みなど、集団生活

の向上と「らしさ」を追求してきました。

○ 生徒会では、さまざまな自治活動が展開されました。毎朝そして小学校に出向いてのあいさつ運動、朝の校内美化活動とすみずみ清掃、命を守るため自転車の整理整頓と安全意識向上活動、空き缶回収や地域の清掃な



どのボランティア活動などに継続して取り組んできました。

○ 運動会や文化祭では、生徒の実行委員会が企画運営にあたり、見事に仕上げることができました。また1年生の「長井の心を知る」、2年生の「岩手・秋田方面修学旅行」、3年生の「職場体験」など、コロナ禍でも工夫しながら実施できたことは大きな喜びでした。

○ 部活動では中体連地区大会優勝4種目、地区新人大会でも4種目が栄光に輝き、陸上と水泳では東北大会まで駒を進めました。また文化面においても、吹奏楽コンクールにおいて地区大会優秀・県アンサンブルコンテスト金賞、県こども絵画展奨励賞、作文コンクール等での県最優秀及び全国入選など輝かしい成績を残しました。

■開校して3年目に実施した全校生アンケートによれば、北中学校の誇れるところ①学校がきれい②部活動が盛ん③学校生活が楽しい、北中生として誇れるもの①あいさつや会釈ができ礼儀正しい②行事の団結や協力が固い③仕事に対してまじめ、という結果だったようです。継続は力なりという言葉があります。今まで築き上げてきた不易なるものを根底にすえながら、より高いものを求めてチャレンジし続けなければなりません。また、「夢なき者に成功なし」という吉田松陰の言葉があります。今までより高い目標を掲げ計画と実行を重ね、新たな校風と自分の成長につなげてほしいと願っています。



